

なかなか見ることのできないインドネシアのユニークな伝統音楽と現代の音楽をミックスさせた楽曲を奏でるKi Ageng Qithmirと、椎葉神楽をルーツにもち様々な身体表現を得意とする黒木裕太のコラボレーションを実現。これまでになかった異色の組み合わせでコロナ禍の今しかできない作品をご覧ください！



キ・アゲン・キスミール

Ki Ageng Qithmir

(音楽・映像出演)

2017年に発足したインドネシアの音楽チーム。9人のメンバーで構成されており、ギターやサクソとインドネシアの伝統的な管楽器や弦楽器などを合わせた楽曲を制作する。2019年にはVCA（ビクトリア芸術大学、メルボルン）にて学生たちとのコラボレーション作品である“Soreng Melbourne”を発表。その他、インドネシアの5つの山村地域で行われる芸術祭“Festival Lima Gunung”など様々なイベントで作品を創作し続けている。

GaDo-GaDo (主催・制作)

私たちは多様な人々と関わってそれぞれの得意なことを活かし、一人一人の「ごちゃ混ぜ」の魅力の一つの作品にし、パフォーマンスで表現していきたい。多様な個性を大切にしながら作品づくりを行うことで、新たな共創社会の実現に寄与していきます。



JAPAN × INDONESIA

ROOTEDNESS and BEYOND

～根源とその先へ～

私たちは土地、祖先、文化の中にある自分の「根」との密接なつながりを意識し、その知識を具現化することで、創造性の光を浴びて限られた可能性を超えていきます。このコラボレーションは、無限の可能性を秘めた世界への旅との出会いです。

～歩み～

Ki Ageng Qithmirと黒木裕太の友情は、2018年にインドネシアのジョグジャカルタで行われた、日本・インドネシアの伝統音楽のコラボレーション「WHEN THE DIFFERENCES MEET」(国際交流基金アジアセンター助成公演)に黒木が参加したことから始まった。

このコラボレーションではインドネシアのさまざまな民族的背景を持つ6人の音楽家と尺八奏者、三味線奏者を交え、伝統音楽とダンスによるパフォーマンスをインドネシアの3都市(ジョグジャカルタ、ソロ、スマラン)で上演。以来、ダンスと伝統音楽による両国の共同制作を継続している。

2020年はインドネシアの5つの山村地域で展開される五穀豊穡を祈願する儀式“Festival Lima Gunung”(フェスティバル・リマ・グンヌ)にオンラインで参画した。



黒木裕太

(出演・振付・演出)

日向学院高等学校、宮崎大学教育文化学部卒業。父方の実家が椎葉村の榎尾神楽を代々継承している家系に育つ。大学時代から「劇団夢」に所属し、大江泰子氏、講師の川越真也氏に師事。2015年より振付家である香瑠鼓氏がプロデュースする即興集団『ApicupiA』に参加。舞台、CM、映画などに出演。2018年日本・インドネシアの国際交流事業「WHEN THE DIFFERENCES MEET」(国際交流基金アジアセンター助成公演)にて海外ソロパフォーマンスデビュー、新聞やネットニュースなど現地メディアに取り上げられる。2020年3月「セッションハウス・アワード2020」(神楽坂セッションハウス)にて【もう一度見たいダンス作品】に選出。

黒木裕太宣伝写真：戸成嘉則



【会場のご案内】

宮崎市清武文化会館

〒889-1613 宮崎県宮崎市清武町西新町6番地5

TEL.0985-84-0181 FAX.0985-85-4422

◆車でお越しの場合

宮崎空港より車で約20分。

◆駐車場

宮崎市役所清武総合支所駐車場と共用(約120台)

※宮崎市清武文化会館には、専用駐車場がありません。お越しの際は、乗合せ又は公共交通機関等をご利用ください。

◆バスでお越しの場合

宮崎交通「清武総合支所前」バス停から徒歩約1分

「宮崎駅」から約30分。

「宮交シティー・南宮崎駅」から約15分。

清武経由、大学病院行き、または、清武経由、大学病院・宮崎大学行きをご利用ください。

◆電車でお越しの場合

JR日豊本線「清武駅」から徒歩約10分

宮崎 — 清武…約15分

南宮崎 — 清武…10分



新型コロナウイルス感染症対策のため、手指の消毒やマスク着用をお願いいたします。体調不良が認められる際にはご入場をお断りする場合がございます。また、感染状況によっては公演の延期・中止等を行う可能性がございます。予めご了承ください。